

平成28年度第1回府中市都市再生協議会 議事録

1 開催日時

平成28年8月10日（水） 午後1時30分～午後4時00分

2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

3 出席

(委員)

前原 裕吉	小谷 直正	有光 梨紗	梶月 利夫	渡邊 寛人
藤枝 俊治	瀬尾 泰雄	中村 一夫	塚本 俊明	岡辺 重雄
伊藤 泰三	濱崎 芳幸	宮 睦明	宮脇 功	濱中 健司
小寺 旭	友道 康仁	小林一成 (加藤 勇樹委員の代理出席)		

(アドバイザー)

原 朋久

(事務局)

副市長 船尾 恭司
建設産業部長 若井 紳壮
まちづくり課長 切原 秀隆
まちづくり課都市計画係長 能島 克則
まちづくり課都市計画係主任 原田 茂幸
同主任 掛江 昌史
同主任技師 信岡 知典
同主任技師 川崎 智隼
同主任主事 瀬川 英俊

4 議事次第

1. 開会
2. 副市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 会長及び副会長の選出
5. 議事
 - ① 立地適正化計画の概要
 - ② 府中市の現状と課題について
 - ③ 今後の立地適正化計画策定の取り組み予定

5 議事要旨

<会長及び副会長の選出>

(●●委員)

- ・会長については、府中市都市計画審議会の会長をされており、都市計画分野に精通しておられる塚本委員にお願いしてはいかがでしょうか。(同意の拍手)

(●●委員)

- ・副会長については、都市計画や建築分野に精通しておられ、府中市空家等対策協議会の会長を務めておられる岡辺委員にお願いしてはいかがでしょうか。(同意の拍手)

<本日の議事録確認委員の選出>

(会長)

- ・府中市都市再生協議会運営規則第6条第2項の規定により、2名の委員の方に議事録署名をお願いしたいと思います。本日の議事録の署名委員については、「市民」・「公共交通に関する事業者」のグループから前原委員と「関係団体の代表者又はその指定する者」・「都市計画、福祉、商工業等に関する専門的知識又は学識経験を有する者」のグループから中村委員をお願いしたいと思います。

<議事についての質疑・意見交換>

(●●委員)

- ・資料3のP.12に関して、人を集約するのは難しいと思う。P.18のように、交通機関を発達させるほうが、人や建物を動かすより良いと思う。

(●●委員)

- ・将来予測の結果については、少し絶望的なところも予測されているが、今後の技術革新をふまえたものなのか。技術革新をふまえたシナリオが必要ではないか。実際、例えばスマートフォンが当たり前となった現在の状況などは昔では考えられなかったように、ITに関して遥かに進んでいるし、最近では車の自動運転技術なども急速に進歩している。

(事務局)

- ・人口推計については、あくまでも国立社会保障・人口問題研究所のデータに基づいたものであるため、そのようなことは考慮していない。

(●●委員)

- ・富山市の事例が紹介されていたが、人口が45万人程度と府中とは状況が異なっている。府中と同じような人口規模で成功しているような事例はないのか。また、山間部と平野部とでも状況が異なってくると思う。

(アドバイザー)

- ・現在、立地適正化計画については検討中の自治体が多く、紹介できる段階になっていない。

(事務局)

- ・府中市では、福山市や三原市、竹原市、尾道市と現在情報交換を行っている。人口や街の形成、地形などは異なり様々な考え方がありますが、引き続き情報交換をしていき、府中市の計画づくりの参考としていきたいと考えております。

(●●委員)

- ・いくつか意見がある。まず、スケジュールについてだが、とりまとめまで協議会が開かれない予定となっているが、庁内ワーキングに検討のすべてを託すというのは心配である。第2に、私は中須に住んでいるが、中須辺りは市内で一番住みやすい地域だと感じている。新市や福山にも隣接しており、医療や買い物の環境など半分くらい福山に依存

している。そのような認識がないまま、中心部に都市機能を集約するという話を進めているとしたら、不安を感じる。最後に、生活利便性の高い地域という資料が提示されたが、これはどのような根拠で線を引いているのか。

(事務局)

- ・まず、スケジュールについては、ご指摘の通り、今回、非常に短期間で検討せざるをえない状況となっている。また、庁内の検討体制ですが、庁内委員会は、関係部署の部長・課長で構成し庁内ワーキングは関係課の係長級で構成しております。素案の取りまとめの段階で協議会の意見を適宜反映しながら素案の最終的なとりまとめを行っていきたいと考えている。
- ・次に、中須町周辺については、福山等の隣接地域も含めて公共施設や商業施設の分布を確認しながら、広域的な視点を持って本計画を作成していきたいと考えている。
- ・最後に、さきほど提示した「生活利便性の高い地域」の図については、あくまで昨年度の検討の中での1つの案でしかない。スーパーや病院、金融施設などを日常的に利用する機能として、公共交通機関からの徒歩圏と重なる地域として作図をしている。再度申し上げるが、あくまで昨年度の案の段階であり、確定したものではないが、こういった区域が住みやすい地域ではないかと考えております。

(●●委員)

- ・スケジュールについては私も気になっている。そもそも、この都市再生協議会の落としどころは何であるか。また、都市計画マスタープランと本計画の位置づけはどのような関係にあるのか。府中市は、1.5kmの山と山の間には川があり、道があり、道があり、線路があって、その中に病院とか学校とか駅やバス停があって、都市機能は既にコンパクトにまとまっていると感じている。また、このスケジュールで本当に意見の集約ができるのか教えていただきたい。

(事務局)

- ・おっしゃるとおり、府中市では都市計画マスタープランを策定し、それに基づいて様々な事業も進めている。立地適正化計画では、「都市計画マスタープランでコンパクトシティプラスネットワークの都市構造を目指しているが、これをどうやって、時間的感覚をふまえてどのように進めていくか」又は「人口減少が進み税収に限られる中で、ある程度居住を集約していき、住みやすいまちにするため、商業施設や金融機関など残しつつ住みやすいところに誘導していく」といったところが今回の計画となっております。
- ・スケジュールにおいては、おっしゃるとおりタイトなスケジュールとなっております。庁内で検討してまとめたものを、個別にでもご説明をさせていただかなくてはいけないと思っております。

(●●委員)

- ・本日の配布資料は、字が小さく、持ち帰って読もうと思っても読みづらい。次回以降考慮してほしい。現在の府中は非常に厳しい状況にあると思う。バスはマスの輸送なので、人口が少なくなるとなかなか難しいこともあるが、それでも時代に合った輸送体系を考えていくべきである。市民が本当に必要としている足についてはなくならないようにしていくべきである。

(●●委員)

- ・私は、昨年の8月まで東京の世田谷区に住んでおり、まだ府中市に住んで日が浅いのでコンパクトシティになっていく様子があまり想像できていない。本計画は、何年後を目標にして計画するのか。現在80代でまだまだ現役の人たちが多くいらっしゃるが、その方々が計画の効果を実感できると良い。また、現在上下に住んでいるが、中心部に出てきてもバスを1本逃したら下手をすれば帰れなくなる状況であり、とても歩いて過ごせるまちにはなっていない。公共交通についても検討していただきたい。

(●●委員)

- ・中須町周辺のほうが住みやすく、逆に中心部は住みにくいと感じている。中心部だけではなく、周辺部の充実も視野にいれて計画してはどうか。

(●●委員)

- ・昨年6月から府中市に関わっているが、コンパクトなまちだという印象を持っている。本計画と中心市街地活性化基本計画との関係はどのようになっているのか。区域の検討の際には、中心市街地活性化基本計画の範囲も参考にすると良い。

(●●委員)

- ・住民を中心に集めるのは無理だと思う。公共交通については、デマンドバスやぐるっとバスなどがあって病院やハローズ、天満屋などにも行けるので、助かっている。本計画には、このように既に実施されている内容も盛り込んでいくと良い。また、老人会や民生委員、ボランティア委員の方々など、皆少しずつ頑張っていて活動をしているので、こういったことも集約化して盛り込み、立派な計画にしたら良い。

(副会長)

- ・原氏に質問なのだが、「計画目標年次2025年」とは国が決めているのか。

(アドバイザー)

- ・目安であり、こだわらずに自由に決めることが望ましい。あまり短期間とすると、強制的な計画になりかねない。

(副会長)

- ・また、機能の立地に際して人口の密度感が重要だとの話があったが、拘束性はあるのか。先ほどの小谷委員のご意見のように、将来はビジネスモデルだって変わる可能性も想定できるのではないかと。

(アドバイザー)

- ・あくまで参考値であり、拘束性はない。

(副会長)

- ・2050年頃を見越しつつ、都市計画マスタープランのような10年程度の期間で、近々課題になる事項、現在既に課題になっている事項を見定め、重要なものから取り組んでいくということが必要ではないか。また、人口については「これだけ減ってしまったときにどうするのか」という議論では、将来の可能性をそいでしまうのではないかと懸念がある。

(●●委員)

- 行政が何かをするときには必ず、未来像が必要になってくる。本計画は、実現しやすく、夢のあるものにしてほしい。それで補助金などを使いながらどんどんまちづくりを進めてほしい。

(●●委員)

- 府中市では、福祉関係の計画も出されている。それらも参考にして、検討を進めること。

(会長)

- 本日のまとめとして、意見交換で出された様々な思いを反映し、クリアな計画としていくこととしたい。

以上